

**Yomy** ヨミー

読売新聞読者に毎月  
YCからお届けします

# 読売ライフ

「読売新聞はスタジオジブリを応援し、『ゲド戦記』に特別協力します」

## ゲド戦記

ル=グウィン原作 宮崎吾朗 第一回監督作品



4

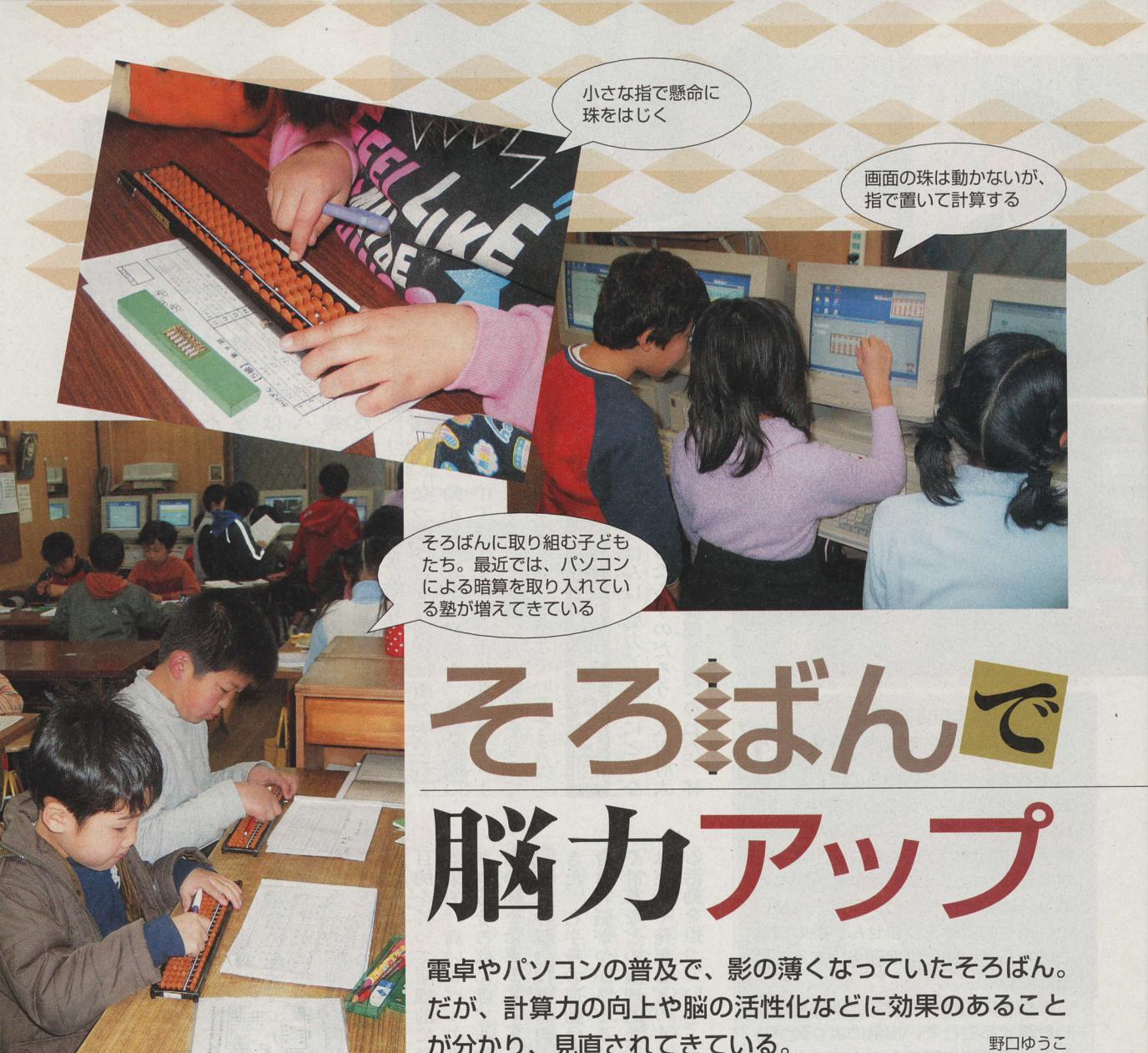
APR.2006

<http://www.y-life.jp/>

特集／辞書の森・探検  
料理／桜ダイで春色づくり  
地域面／そろばんで脳力アップ！他

2006年7月全国東宝洋画系ロードショー

原作『ゲド戦記』(清水真砂子訳・岩波書店刊)



# そろばんで 脳力アップ

電卓やパソコンの普及で、影の薄くなっていたそろばん。だが、計算力の向上や脳の活性化などに効果のあることが分かり、見直されてきている。

野口ゆうこ

2006年4月号

## 目次

## 読売ライフ

1 ● 特集1／そろばんで脳力アップ

22 ● 料理／

表紙の絵

### 『ゲド戦記』

今年7月に公開予定のスタジオ

## お母さんたちの選択

ものですから

鈴木さんの友人の吉川匡子さんも

そろばん支持派。小4の長女を1年程前に入塾させた。「ほかの学習法

小6の長男にそろばんを習わせなかつたことを悔やんでいる。「習つた同級生は計算が速くて算数の得意な子が多いんです。でも、うちの子は計算が苦手で……。近くに塾がなく、行かせようと思った時期と母の介護が重なつて送り迎えが出来なかつた

をやらせていましたが、そろばんの方が汎用性に富むような気がして。私も習っていたので、今でも暗算ができます。娘も半年目ぐらいから面白くなつてきたみたいですね」

数年前に囲碁始めた吉川さんは、最近、暗算が楽に出来るようになったと言う。囲碁は頭の中で石を動かして着手先を読む。暗算も頭の中で珠を動かす。吉川さんはイメージする事が脳に良い刺激を与えているのでは、と感じているそうだ。

## 珠算は左脳、暗算は右脳

そろばんは「脳力アップ」にどんな効果をもたらすのだろう。大阪府大名誉教授の林壽郎さんに尋ねた。林

さんは人工臓器の専門家。高齢者のリハビリを研究するうちにその有効性に着目し、著書に「子どもをすぐ伸ばすそろばん」(共著)もある。「脳の働きを良くするのは、大脑新皮質の運動野と感覚野(※注)の神経細胞の配線(シナプス)をいかに増やすかにかかっています。それには多くの脳神経を同時に働かせる」と指先の反復運動が有効です。しかし、無意味に動かすのではなく、目的を持って組織的に動かすことが効果的。高いレベルの集中力も要求されるそろばんは、非常に効率良く脳神経を発達させます」

左右の脳の役割も明らかになってきた。右半身の運動は左脳が、左半身は右脳がつかさどる。左脳は言語や計算などの論理的な活動を、右脳は芸術や発想などのイメージを要する活動を担っている。

## 驚異のフラッシュ

大阪府堺市の塾「ウメダで、今、子どもに人気のフ暗算を実演してもらつた。画面に一瞬だけ映し出され暗算する。塾長の梅田忠則ラッシュ暗算の名付け親だ協力してくれたのは7段小学6年、西出和正君。堺競技会で4連覇を狙う実力

出君は画面を見つめるだけ変わらぬ3ヶタの数字を足、私もそろばん経験者だが、して空想の珠をはじかねれない。珠はおぼろで指の来ない。珠はおぼろで指のいつかず、すぐにジ・エン全問正解の西出君はといろばん珠を思い浮かべて動いたため、瞬時に計算出来る

梅田さんによると、今の検定にはこだわらず、計算や脳の活性化を望んで、「百マス計算の陰山英男先生を取り入れて学力を向上などを聞いて、興味を持

そろばんは右手で珠を計算するので左脳を使う。暗算するので右脳を使いイメージするので右脳を伸ばす。その意味でもそろばんなっています」と、林さんを押した。



## 古里はどこ…?

### 大津

大津はかつてそろばんの産地だった。江戸時代初期の1612年、片岡庄兵衛が長崎から中国式のそろばんを持ち帰り、独自の改良を加えて製造を始めたと言われる。当時の大津は東海道筋に当たり、近江商人の活躍や京、大阪という消費地に近いことから大いに栄えた。

現在では作られなくなったが、同市立歴史博物館では、今も製作道具を見ることが出来る。古刹、三井寺には全国珠算教育連盟が建立した大津そろばん顕彰碑があり、毎春、大津そろばん祭りが開かれている。

### 播州

播州そろばんは、安土桃山時代(1573~16



↑珠の入った箱に軸を入れ、4、5回振ると珠が軸に納まる

←伝統的工芸品として認定されているつげ玉のそろばん



click!

#### 全国珠算教育連盟

<http://www.soroban.or.jp/>

#### 日本珠算連盟

<http://www.syuzan.net/>

#### 全国珠算学校連盟

<http://www.shuzan-gakko.com/>

#### ウメダそろばん

<http://www.abacus24.com/>

## 計算特区の成果

文科省の小学校学習指導要領では、そろばんが必修なのは3年生のみ。履修時間や他学年でも学ぶかどうかは、各校に任せられている。目的はあくまで数や計算の理解を深めること

うです

取材日に5歳の男の子を連れて来ていたお父さんへ動機をうかがうと、やはり「脳の活性化にはそろばんが一番良いと思った」と話していた。

- 1 年齢の違う子と一緒に学ぶ様子は昔も今も変わらない
- 2 林さん
- 3 見取り算、読み上げ算など、色々なパソコンのソフトを使って学ぶ
- 4 西出和正君(右)と弟の彩人君。家ではお兄ちゃんが先生だ
- 5 一瞬だけ映る数を追うフラッシュ暗算
- 6 梅田さん

で、上達を目指すわけではない。使  
い方を知る程度、というところか。  
兵庫県尼崎市は国から「尼崎計算  
教育特区」の認定を受け、取り組ん  
でいる。04年に市立杭瀬小をモル  
校に計算科を設置。2年生で年間10  
時間、3~6年生で50時間をそろば  
んを中心とした授業に当てている。  
児童や保護者からは、  
●手が動くようになって、頭の中にそろ  
ばんが浮かび、楽しく出来るようにな  
った(5年)

●計算が遅かったけれど、速くできるよ  
うになつてうれしい(6年)

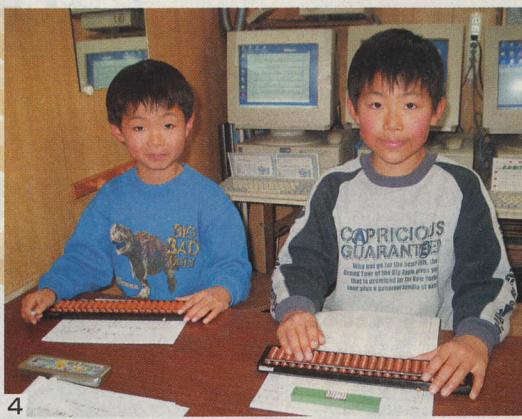
●集中力がついた(保護者)

●自分から進んで計算するようになつた  
(同)

●簡単な暗算が出来るようになり、自信  
がついた(同)

◆◆◆◆◆

前出の林さんによると、今、中國  
などでは、児童への徹底教育を始め  
てあるそうだ。「今の子どもたちが  
大人になった時にどれだけ差が付く  
ことか……」と林さんは危ぶむ。  
「脳への効果だけではなく、じつと  
計算に取り組む集中力やがまん強さ  
が培われる。塾では年齢の異なる子  
どもたちが共に学び、教え合う。電卓  
に頼る日々を送りがちだが、今一度、  
そろばんの良さを見直してみたい。



4



5



6